

「校長たより」にアクセスいただいた皆様

「校長たより」にアクセスしていただき、ありがとうございます。今回は、大きく4つについて掲載いたしました。

①十日町ライオンズクラブ様へ、日頃の感謝を込めて

～1/15（水） 中学部製作缶バッジを贈呈～

②キラッと輝くエピソード

○心あたたまる校長室入の季節飾り ～ 中学部1年生の学習成果から～

③本校の教育活動

○学びを日常に生かす ～ 中学部2年生道徳の授業から～

○かたちにしてみる ～ 紙工班の紙すき製品の取組から～

○見る側にとって優しい起案

○小学部全員で「金賞」受賞

④お耳を拝借

○もう「学習指導要領」の検討が始まる?! ○絵本の紹介

お読みいただき、本校の教育活動にご理解いただくとともに、ご指導ご助言いただきますようよろしくお願い申し上げます。

校長 上松 武



令和7年1月20日

チームふれあい 27人の先生方へ

「なかよく たのしく たくましく」生きる

子どもの育成を目指して②⑩ -0120 校長たより-

～自分のできることで、まわりの人を笑顔にしよう！幸せにしよう！～

上松 武



1 十日町ライオンズクラブ様へ

○日頃の感謝を込めて ～1/15（水） 中学部製作の缶バッジを贈呈～

・本校の缶バッジの製作には、生徒が校外学習へ出掛けた先で「この景色、いち押し」と思った場所を撮影し、缶バッジに仕上げ、自分たちが暮らしている地域の魅力を伝える目標があります。

・十日町商店街のお店の「ショップバッジ」も製作しています。これには、地域のお店の発展に少しでも貢献するという想いで取り組んでいると同時に、「仕事」や「働くこと」の大変さややりがいを学ばせてもらっています。

・今回、本校の教育活動への長年に渡る、多大なご支援に感謝の気持ちを表したいとして、十日町ライオンズクラブ様のマークを缶バッジのデザインにして製作し、この程、完成して贈呈することができました。

・ふれあいの丘支援学校と一緒に活動をする際にこのバッジを身に付けてくださるよ



うです。毎年恒例の「豆まき集会」には身に付けてきてくださることになりそうですね！

- これからも末永くかかわりを持ち続けて深めていくよう、様々な面で関係性を膨らませていきたいと考えています。

2 キラッと輝くエピソード



○心あたたまる校長室入口の季節飾り ～中学部1年生の学習成果から～

- 昨年12月半ば、中学部1年生の3名が、サンタクロースやトナカイ、もみの木などを折り紙で制作して、校長室入口の飾りとして持ってきてくれました。
- 角をピタッと合わせて折ったり、小さい金色シールをもみの木にバランスよく貼ったりと、注意を集中させながら制作したことが分かる飾りになっていました。
- 11月の飾りに続いて、12月もいただくことができました。

とても嬉しく思いつつ、1月の飾りもいただけるのかなと期待して待っていたら、干支の巳（へび）やコマ、獅子舞を折り紙で器用に、そして上手に作った飾りに変わっていました！ 大感激!!

- 相手をこんなふうに「嬉しい気持ち」や「幸せな気持ち」にさせてくれる学習活動を考えて実践している先生方に感謝です。

3 本校の教育活動

(1) 授業改善

○学びを日常に生かす ～中学部2年生

道徳の授業から～

- 各学級の掲示物などを見て回っていた時に目を引きました（右の写真）。12月5日から12月12日までの期間を「人権教育、同和教育強調週間」と位置付けて、全校で各学級が道徳の授業に取り組みました。その学びの跡を見ることができて、嬉しくなりました。



↑絵本『ごめんね ともだち』から引用

- 中2の道徳授業では、「みんなと仲良く楽しむためには」をテーマに、絵本『ごめんね ともだち』と実際に学級で起こったエピソードを教材にして学習を進めたそうです。

・学んだこと

「負けて怒ることは×」
 → その理由として「みんなが楽しくなくなる」。だから「勝ったら楽しいけど、負けても楽しかったと言えるように拍手したりがんばったことところをほめたりしよう。そうすると、みんなが仲良く楽しくできる」と話し合ったそうです。

『あー、イライラする』と言うのは×
 → その理由として「まわりの人がびっくりするし、こわがったする」。だから「深呼吸をしたり言わずにがまんする」と違う方法を確認したそうです。

- ・自分のこととして受け止めて考えており、この学びがどんな行動の変容をもたらすのか、どんな「イケメン男子」(中2の学級目標です!) になっていくのか、とても楽しみです。

○「かたち」にしてみる ～紙工班の紙すき製品の取組から～

- ・中学部職業基礎の紙工班では、「油吸い取りパック」に続いて、「色紙すき」を製作しています。
- ・ミキサーで細かくした牛乳パックに色紙をちぎって加え、さらにミキサーで細かくして混ぜながら色を付けていきます。トロトロになったものをできる限り平らにしながら写真のような製品に仕上げていきます。
- ・なかなか気の抜けない工程がたくさんありますが、注意を切らさずに取り組んでいます。試作品ができて、「こんなふうにしてみました」と担当の先生がもってきてくれました(写真参照)。
- ・この試作品ができるまでの生徒や先生方の苦労や努力はなかなか見えにくいのですが、「かたち」にすることで想像することができます。この試作品が今後どうバージョンアップしていくのか、苦労や努力を想像したり、時には授業風景を見に行ったりして見届けたいと思っています。



(2) 業務改善

○見る側にとって優しい起案

- ・以前にも取り上げたことがありますが、起案の仕方を写真のようにするだけで業務の改善につながっていきます。そして、**職員間の人間関係にもよい影響を及ぼす**のではないかと考えています。
- ・例として挙げた「スノースポーツ体験学習」は毎年少しずつ内容や方法に変更を加えて、よりよい活

起案票						
公開		非公開		部分公開		分類番号
校長	教頭	教務	文書取扱主任	係主任	起案	令和 7年
					起案者	渡辺
					決裁	令和 7年
標題	スノースポーツ体験学習 ボランティア等 保護者配布 (1/10)				・校長私印 ・職印	
<small>上記の件について別紙のように起案します。 のとおり(実施 ・ 提案 ・ (配付) ・ 提出)してよろしいかどうかお伺い します。指示等</small>						
<p style="text-align: center; color: red;">ア:ダラインの変更点です。</p>						
起案用紙・起案文書は分類番号のフォルダに保管してください。						

動にしていっています。

- ・起案する前に先生方で話し合う時から昨年度との変更点に焦点を当てれば、検討事項に十分な時間を掛けることができます。意見を出しやすくなり建設的なコミュニケーションが取れるようになると思います。
- ・学校評価での結果が低かった職員間のコミュニケーションの取り方をちょっと工夫してみませんか？

(3) 認知度改善

○小学部全員で「金賞」受賞

- ・「いじめ見逃しゼロ標語・ポスターコンクール」で小学部全員による共同作品が「金賞」を受賞しました（左写真）。
- ・「私たちは大切な『なかま』だよ、お互いに大切な存在だよ」と周りに力強く訴えかけています。
- ・一つ一つのハートが形も色も大きさも違ってきます。「どれも大事なハートだよ。そう認め合っているのが『なかま』だよ」と優しく伝えていきます。心洗われるステキなポスターです。
- ・令和7年度の学校たよりの題字の横に掲載しようと考えています。



4 お耳を拝借!!

(1) もう「学習指導要領」の検討が始まる?!

- ・わが国は「学習指導要領」が幼稚園、小・中学校、高等学校、特別支援学校ごとに定められています。そして、質の高い教育を、全国のどこにいても等しく受けることができるようになっていきます。
- ・その「学習指導要領」がもう検討されようとしています。今の学習指導要領は、平成29年（2017）、30年（2018）告示されて、現在の教育課程編成、実施の基盤になっています。それが「もう改訂…」「今度は何が増えるのか…」「何が変わるのか…」、これが現場の私のホンネだと思います。正直、ため息しか出ません。
- ・こんなので、子どもたちに責任をもって教育に当たれるのか不安です。
- ・ちなみに、次の日程で進んでいくようです。
 - 令和6年（2024）12月25日、文部科学大臣から中央教育審議会に検討依頼
 - 令和9年（2027）ごろに、新学習指導要領の告示予定
 - 令和12年（2030）ごろから、新学習指導要領に基づく教育課程の編成実施の開始

(2) 絵本の紹介



「ぼくは、ういてる。」 なかがわちひろ作

「ぼくは、ときどき ういてる。」

「ういてるって、どういうことかな」、そう思いながら読んでいくうちに、一平くんは同じように浮かんでいる山田さんを見つけたり、浮かんだままスキップする方法をあみだしたり、あるいは浮いているのに沈んでいる気持ちになったり、学校へ通う毎日の中で様々な経験をしていきます。

新学期がはじまり、学校で過ごす子どもたちの心は、風船みたいにふわふわと揺れ動いているものなのかもしれません。一平くんみたいにしょっちゅう浮いている子もいれば、わざと浮くことができる子や、自覚なんてな

いけれど浮いている子もいるのでしょう。「ういてる」って、いいこと？ 良くないこと？ はっきりと答えはわからないけれど、一平くんをみていると、不思議とじわじわ勇気がわいてくるのです。

「わたしも、よく うきます。」とおっしゃっているのは、いつも子どもたちの心の奥底にある、繊細で大切にしている部分に優しくスポットをあててくれる作者のなかがわちひろさん。心もとなくて、さびしくて。でもなぜかちょっぴり気持ちいい。そんな感覚を、大人も一緒に思い出してみてくださいね。

「絵本ナビ」ホームページから参考・引用